

2012

9

September
No.64

発行日：2012年9月

六角通り

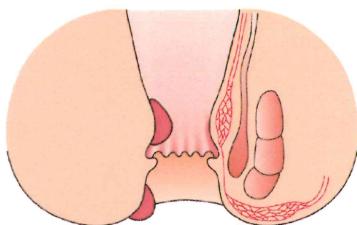
新町六角

京都遞信病院だより

新町通り

痔の最新の治療

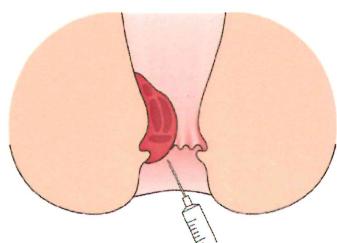
外科部長
とく なが
徳永 行彦
ゆき ひこ



肛門周囲の粘膜の下には血管が集まって肛門を閉じる働きをするクッションのような部分があります。肛門への負担が重なるとその血管は太くなり、蛇行し、静脈瘤のようになります。それを痔核（いぼ痔）と言います。
痔核の治療として従来は結紮切除術しかありませんでした。最近、ジオン注硬化療法、PPH療法と治療の選択肢が広がり、患者さんの希望に応じることが可能となりました。

■痛みのほとんどない痔核治療法

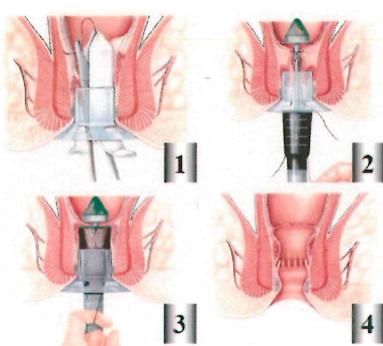
ジオン注
硬化療法



「脱出を伴う内痔核」にジオン注を投与して痔に流れ込む血液量を減らし、痔を硬くして粘膜に癒着・固定させる治療法です。
疼痛も少なく、外来治療が可能です。

(高度な注射技術と知識が必要とされるため一部の許可された医師しか治療は行えません)

PPH療法



痛みを感じる神経を傷つけずに痔核を持ち上げ、元の位置に戻す治療法です。また同時に痔核に注ぐ血管を遮断するのでうっ血していた痔核は次第に小さくなり完治します。

私はジオン注硬化療法の資格を持ち、これまで数々の経験を有しています。その他にも、術後障害の少ない痔瘻手術（ミニマルシートン法）、裂孔の治療、再発しにくい直腸脱手術（デロルメ法）などを多数行ってきました。

お尻のことでお悩みの方は気軽にご相談ください。



日本郵政



<http://www.hospital.japanpost.jp/kyoto/>

内視鏡室が拡充されました。

この度、6月1日付で消化器科部長を拝命いたしました。平成21年1月に国立病院機構京都医療センターより当院第二内科に着任し、吉岡第二内科部長（現副院長）の指導の下、主として消化器内視鏡診療の体制構築に取り組んできました。平成22年の内視鏡ファイリングシステムの更改に始まり、平成23年にはNBI・拡大内視鏡を導入し、地域の先生方からの検査依頼にも対応することができるようになりました。また、本年3月には念願であった内視鏡室の移転・拡張を行うことができ、環境整備と検査効率の改善も達成しています。今後、消化器科では消化器疾患のプライマリケアと消化管疾患（消化性潰瘍、胃・大腸癌、炎症性腸疾患など）を中心に、医療の標準化と効率化に取り組んで行く所存です。

消化器科部長 渡邊 亨



- ◆日本内科学会内科認定医・指導医
- ◆消化器病学会専門医・指導医
- ◆内視鏡学会専門医・指導医

NBIと拡大内視鏡

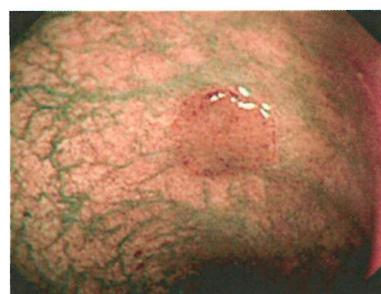
消化器科 安立 英矢

(◆消化器病学会専門医 ◆内視鏡学会専門医)

NBI (Narrow Band Imaging)

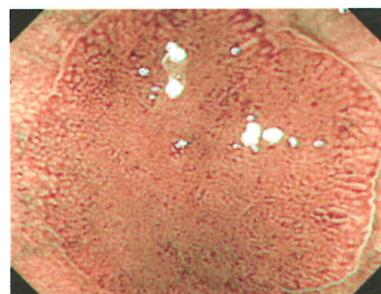
狭帯域観察：

血液の成分（ヘモグロビン）に吸収されやすい波長の光で病变を観察すると、通常の写真と比較して血液の成分が強調され、粘膜表面の血管構造や微細な粘膜表面の構造みることができます。がんは自らを大きくするため血管を増やして栄養をとりこむ特性があります。粘膜表面の構造や血管の変化を観察することで、がんの早期発見をサポートすることができます。



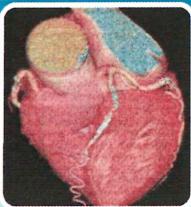
拡大内視鏡：

平坦にみえる消化管の粘膜表面でも拡大観察をすると粘膜表面の微細な構造が観察できます。病变の表面を拡大して粘膜紋様を観察することで、病变の鑑別や病变の広がりを評価することができます。



NBIと拡大内視鏡を組み合わせることで、治療に必要な精密検査が可能となります。

[低被曝] 最新型GE製64列マルチスライス CT660PROFD

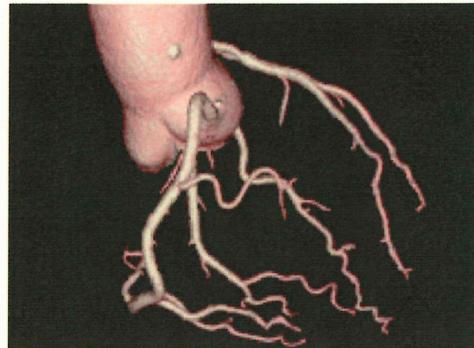


心臓CT検査のご案内

当院の64列CTで冠動脈・心機能のスクリーニングが可能です。撮影時間は10秒以内と非常に短く、息止めなど患者様の負担は最小です。狭心症、心不全や動脈硬化などが疑われる方には大変有意義な検査です。

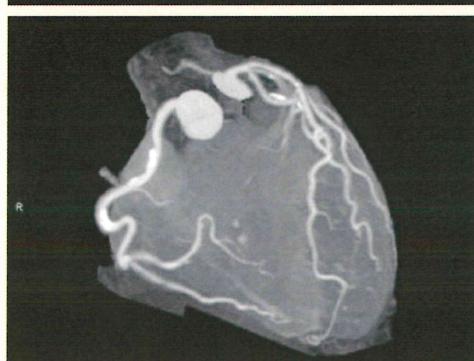
○心臓(冠動脈)CT検査ってどんな検査?

心電図を取りながら心臓の動きの遅い周期を狙ってエックス線を照射し、得られた横断画像を高度なワークステーションで心臓や冠動脈の3D画像を作成し病変を明瞭にする検査です。検査時間は、前処理を合わせて30分程度です。



○どなたが分かりますか?

冠動脈の狭窄によって起こる狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患。先天性の心臓・大血管異常。冠動脈壁の石灰化、心臓の弁の石灰化、急性心筋梗塞の原因となるplaques(血管内に沈着するコレストロール)の有無や位置がわかります。冠動脈バイパス術、もしくはカテーテル治療を行う必要があるかどうかなど今後の治療方針検討に役立ちます。



○検査の手順はどうなっていますか?

- ① 内科(循環器)で、診察(問診・血圧測定・脈拍測定・採血等)。
- ② 放射線科で、冠拡張剤を舌下噴霧、βブロッカー静注(必要な方のみ)、造影剤静注で心臓CT検査。
- ③ βブロッカー使用の場合、控え室で休んでいただき、血圧・心拍測定をして異状がなければお帰りいただけます。使用しなかった場合はすぐにお帰りいただけます。



○いつでも検査できますか?

検査は予約制で、現在のところ火曜日、金曜日の午後となっています。医療機関の方は、地域連携室075-241-7176までお問い合わせ下さい。

○費用は?

保険適用3割負担で、約14,000円です。薬剤の使用の有無で多少前後いたします。

病棟個室 グレードアップ!

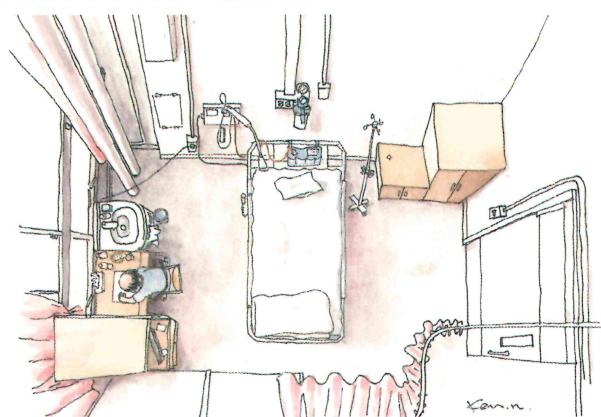
今春、病院の改修工事に伴い、大部屋以外に病棟個室を特別室1部屋・個室6部屋・準(2人)個室1部屋と、部屋種・部屋数を充実させ、患者様やご家族の多様なニーズに少しでもお応えできるのではないかと思います。ご利用された方々からは『とても静かで、治療に専念できた』などの声も聞かれ、大変好評・満足頂いております。

そして今秋からの電子カルテの導入などにより、患者様には大変ご迷惑をお掛けするかと存じますが、設備面だけでなく運営面に於きましても新しく生まれ



特別室

変わることになり、今まで培ってきた患者様やご家族、地域の方々との信頼を大切にしながら『温故知新』の精神で邁進してまいりますので、『かかりつけ医』としての京都精華大学病院を、引き続きよろしくお願い致します。



準個室1名用

京都精華大学非常勤講師 王前 謙さん